

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

事業名	令和6年度 ふなばし歴史・文化クイズラリー				
担当課	文化課	担当者	坂本	連絡先	2887

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	Ⅳ活かし伝える
最も該当する施策	Ⅳ活かし伝える 施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実
関連目標・施策	重点プログラム（2）「『ふるさと船橋』を知る」プログラム 遺跡や文化財に親しむ機会の充実

事業の概要

開催年度	令和4年度から継続			
開催経緯	平成30年（2018年）に開催した『子ども未来会議室』や『まちづくり懇談会』の中で「寺社仏閣や市内遺跡を用いたスタンプラリーの実施」や「市内の神社仏閣の行事への参加を通して地域や歴史を知る」といった事業の提案がなされた。それに対し文化課では市内のこどもが夏休み期間に参加できる事業検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。その後、令和4年に市内の博物館施設等をめぐること、地域の歴史や文化を学ぶことを目標に掲げ「ふなばし歴史・文化フォトラリー」として事業を開始した（ターゲットは小学校3・4年生）。その後、令和6年度からは、この事業をきっかけに普段、気が付かない歴史・文化スポットをめぐり、設置されている遺跡・文化財説明板などを利用して、より学びにつながるようにクイズラリー形式を採用した。			
事業目的	子どもたちをはじめとした市民に、船橋の自然や歴史、文化に触れてもらうきっかけを提供し、地域の歴史や文化により興味関心を持ってもらい、船橋に親しんでもらう、愛着を持ってもらうことを目的とする。			
定性目標	事業を通じて、子供たちをはじめとした市民が地域の歴史や文化に親しみ、「ふるさと船橋」への愛着を抱く機会を創出することを目指す。			
定量目標	過去の実績・期間・内容を踏まえて参加者数を設定し、それを超えることを目指す。			
対象	市民			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は市内の歴史や文化スポットを巡り、遺跡・文化財説明板などをヒントに文化課の設定したクイズに挑戦する。6年度は本町通り周辺で実施。 ・クイズの後に文化課や郷土資料館、飛ノ台史跡公民館で答え合わせを行い、参加賞や景品を受け取る。景品は缶バッジで、スポットとした遺跡や文化財にちなむ写真やイラストを利用した。 ・知ってもらうだけでなく、実際に民俗行事等を体験してもらうため、実施期間に民俗行事等が行われる日を含むように工夫した。 ・5年度は子供が参加しやすいと考え、夏休み期間を中心としたが、参加数が少なかったため、6年度は歩きやすい秋から冬の期間とした。 			
実施主体	市	市との関わり		主催
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広報ふなばし ■ Facebook 	<ul style="list-style-type: none"> ■ HP ■ X 	<ul style="list-style-type: none"> ■ チラシ □ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

経年

年度	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
事業費＝決算額	0	90,950	104,143	90,838	0
市予算		105,000	105,000	91,000	91,000
補助金・協賛金等		0	0	0	0
その他（ ）					
人工（常勤職員）		1	1	1	1
人工（会計年度任用職員）		0	0	0	0
その他人工（他施設職員）		1～3	1～3	1～3	1～3
定量目標値		参加者300人	参加者150人	参加者150人	参加者200人
定量目標値の設定根拠		文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館で各100部ずつ景品配布と想定し、300人とした。	過去の実績から（期間・内容を踏まえて）	過去の実績から（期間・内容を踏まえて）	過去の実績（期間・内容をふまえて）のほか、今年の開催予定場所とそのアクセス状況を踏まえて
定量実績値		50人	65人	295人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者○人 アンケート回収数○ アンケート回収率○%					
事業内容 ※現年度は計画		令和4年度ふなばし歴史・文化フォトラリー ※対象施設を複数巡り、フォトスポットで撮影を行う。撮影した写真を掲示した参加者に景品を交付する。対象施設：文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館、吉澤野球博物館資料展示室、ふなばし三番瀬環境学習館）	令和5年度ふなばし歴史・文化フォトラリー ※対象施設を複数巡り、フォトスポットで撮影を行う。撮影した写真を掲示した参加者に景品を交付する。対象施設：文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館、吉澤野球博物館資料展示室、ふなばし三番瀬環境学習館、ふなばしアンデルセン公園こども美術館）	令和6年度ふなばし歴史・文化クイズラリー ※船橋駅周辺の歴史・文化関連スポット15か所を対象にクイズ設置。参加者は文化課や博物館施設でクイズの答え合わせを行う。参加者には参加賞のほか、一定以上正解した参加者には追加で景品を交付）	令和7年度ふなばし歴史・文化クイズラリー ※開催場所未定
定性目標の実績について 経緯・変遷	初年度、次年度は目標値に対して大きく下回る結果となったため、定量目標値の修正とともに、企画内容をより市民の興味を引くものへと変更した。また、開催時期をより歩きやすい時期に変更し、夏季開催から秋季・冬季開催とした。令和6年度の定量実績値及び参加者アンケートで「楽しかった」「歴史を知ることができた」という回答があったことから、地域の歴史や文化に親しみ、「ふるさと船橋」への愛着を抱く機会を創出することに貢献できつつあると見ている。				

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度に、より市民が興味を持ちやすい企画としてクイズ形式を取り入れた。その結果、より楽しみながら参加をしてもらうことができ、参加者の人数も増加した。 ●文化課の設置している遺跡説明板や文化説明板をより多くの人に知ってもらう為、事業に組み込んだ。 ●初年度より、社会科で地域学習を行っている市内の小学3・4年児童全員を対象に、事業チラシを配布している。 ●ラリーに参加した方々に、より深く文化財を学んでもらうきっかけづくりとして、文化課以外に、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館を特典交換所に設定しております。
--	---

事業評価

評価対象年度	令和6年度
評価実施年度	令和7年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 ■	5 □
	評価理由	令和6年度はアンケートの回収も多く、多様な意見を聞くことができた。その中では「楽しむことができた」という意見の他に、「今まで知らなかった船橋を知ることができた」、「次年度も事業を実施してほしい」との意見が見られたため。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 □	3 □	4 □	5 ■
	評価理由	過去最多の参加者数となったため。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題				
	景品の交換場所が文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館と限られており、事業開催場所によってはアクセスのしにくさに課題を抱えている。				
	事業対象の主体は子どもたちを想定しているが、参加者のうち、子どもたちの占める割合が少ない。				
	求めたい助言				
	課題の解決のために、どのような対応をすればよいか。				

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度個別事業評価シート

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

<p>事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に子供が少ないということよりも、高齢者の参加が多いことを肯定的に評価し、より高い評価をしてよい。事業対象の主体を子どもと保護者、又は子どもを含む一般市民と想定すればよい。 ・子どもの参加を重視する場合は、学区内や長期休み期間での実施・児童ホームと連携、など保護者がいなくとも子どもだけで参加できるような工夫をしてみてはどうか。 ・教育的視点だけでなく、観光資源という観点から、経済部や観光協会との連携を考えるとよいのではないかな。
--	---

フォローアップ

<p>今後の対応 （文化振興推進協議会委員による二次評価を受けての対応を記入してください。）</p>	<p>事業対象を広げ、より多くの市民を対象とした企画の実施を検討してまいります。</p>
--	--

<p>対応の結果 （無理に結果を作り出す必要はありません。結果が出た場合のみ記入してください。）</p>	
--	--